



若者が生きやすい社会を考える

～自殺予防と遺族支援の視点から

講演 尾角 光美 さん(一般社団法人 リヴオン代表理事)

コメンテーター 横道 誠 (本学文学部欧米言語文化学科准教授)

コロナ禍が収束しないなか、自殺で亡くなる人が増えていると言われます。特に、子ども・若者の死因の1位が自殺となり、国際的にも15～34歳の死因の1位が自殺なのはG7の中でも日本のみです(厚生労働省「自殺対策白書」)。

1998年以降、年間3万人以上の方が自殺するという状況のなか、2006年、自殺対策基本法が議員立法で制定されました。その後、政府は自殺総合対策大綱を定めるなどして対策に取り組んでおり、また「世界自殺予防デー(World Suicide Prevention Day)」である9月10日から16日まで「自殺予防週間」と位置づけています(自殺対策基本法)。

今回、グリーフケアに取り組み、近年ヤングアダルトの死別経験と社会経済的影響について研究を行ってられる、リヴオン代表理事の尾角さんをお招きします。若者が生きやすい社会、そして死に直面した誰もが必要とするサポートにつながる社会のあり方を考えます。

尾角 光美(おかく てるみ)さん プロフィール
19歳で母を亡くす。「あしなが育英会」で病気、災害、自殺、テロ等による遺児たちのグリーフケアに携わる。全国の自治体や学校、寺院・宗派などから講演、研修等の講師に呼ばれ、自殺予防やグリーフケアについて伝え広める。2009年、「グリーフケアが当たり前にある社会」の実現を目指して、一般社団法人リヴオンを立ち上げ、『102年目の母の日』(長崎出版)編著。浄土宗第5回「共生・地域文化大賞」の「共生優秀賞」受賞。日本財団国際フェロシップのフェロー5期生として英国留学、ヨーク大学大学院国際比較社会政策修士号取得。現在はバース大学大学院博士課程に在学中。単著『なくしたものとつながる生き方』(サンマーク出版)、共著『自殺をケアするということ』(ミネルヴァ書房)。

日時:2022年9月16日(金)

13:30-16:50(開場 13:00)

会場:京都府立大学 6号館ホール1

(6号館3F)【地下鉄北山駅下車、南へ8分程度】

※ハイブリッド開催(zoom 併用 オンライン参加者のみ事前登録制) 参加費無料

※オンライン参加の方は、9月14日(水)までに、京都府立大学公共政策学部の朝田佳尚(asada★kpu.ac.jp)までご連絡ください(左記★を@に置き換えてください)

学生・府市民のみなさま、ぜひご参加ください

主催:京都府立大学福祉社会研究会 共催:京都府立大学大学院公共政策学研究科

京都府立大学 Campus Map

下鴨キャンパス



0 本館・合同講義室棟

講義室
学生部・教務部 (学務課)
学生相談室 医務室
キャリアサポートセンター
事務局 (管理課)
男女共同参画推進室
京都和食文化研究センター事務局
食堂 売店

1 1号館

生命環境学部

2 2号館

文学部
公共政策学部
講義室

3 3号館

生命環境学部

4 4号館

文学部
公共政策学部
生命環境学部

5 5号館

生命環境学部

6 6号館

講義室
生命環境学部
附属演習林本部

7 プレハブ学舎

生命環境学部

8 稲盛記念会館

(教養教育共同化施設)
講義室
京都三大学教養教育研究・推進機構
事務局 (企画課)
京都地域未来創造センター
国際センター
京都府立医科大学
教養教育教室 教養教育事務室
レストラン

9 附属図書館

(京都府立京都学・歴彩館 2階)

10 体育館

11 第2体育館

12 大学会館

13 国際交流施設

14 クラブボックス

京都府職員研修・
研究支援センター

講義室
公共政策学部

生協は本館地下1階にあります。

京都府立京都学・歴彩館